

肥料コスト低減の推進

【生産環境総合対策事業のうち農業生産環境対策 21百万円】

対策のポイント

肥料使用量の適正化など、農業資材のコスト低減の推進を図ります。

<背景／課題>

- ・農業資材のコスト低減の推進に向け、肥料使用量の適正化などが求められています。

政策目標

農業経営費に占める主要3資材費の割合の削減
(29.6% (22年度) → 28.1% (28年度))

<主な内容>

1. 低コスト施肥技術体系の確立（低コスト施肥技術体系確立事業）

都道府県全体又は都道府県内の広域における施肥量低減の基準策定、低コスト施肥技術体系確立の取組を支援します。

（ 補助率：定額
事業実施主体：協議会、農業協同組合連合会 ）

2. 減肥基準等への適応（減肥基準等適応促進事業）

農業現場における簡易土壌診断装置の導入や外注による土壌診断の実施、土壌診断結果等に基づく施肥設計の見直しを支援するとともに、肥料コスト低減技術の導入を促進します。

（ 補助率：1/2以内
事業実施主体：農業者団体 ）

[お問い合わせ先：生産局技術普及課生産資材対策室

(03-6744-2435)]

肥料コスト低減の推進

肥料使用量の適正化による肥料コスト低減を図るための取組を支援します。

【生産環境総合対策事業のうち農業生産環境対策事業】

① 低コスト施肥技術体系の確立

＜補助対象となる取組例(補助率:定額)＞

- ・ 地域に適応した施肥量低減の基準策定のためのデータ収集
- ・ 肥料コスト低減技術導入の必要な実証試験、機械借上
- ・ 土壌中の肥料成分を把握するために行う土壌分析
- ・ 現地検討会の開催 など



高精度高速施肥機

＜支援の対象者＞

協議会(都道府県(普及組織、試験研究機関等)、農業者団体、肥料販売又は製造事業者等の幅広い肥料関係者が組織する団体)、農業協同組合連合会



うね立て同時施肥技術

② 減肥基準等への適応

＜補助対象となる取組例(補助率:1/2以内)＞

- ・ 簡易土壌診断装置の導入
- ・ 土壌中の肥料成分を把握するために行う土壌分析
- ・ 肥料コスト低減技術導入の必要な実証試験、機械借上
- ・ 講習会の開催 など



土壌分析の実施

＜支援の対象者＞

3戸以上の農業者グループや農業生産法人等の担い手組織、農協等

【対象となる肥料コスト低減技術例】

① うね立て同時施肥技術、② 側条施肥技術、③ 高精度高速施肥機の導入、④ 単肥の混合に必要な肥料混合機の導入、⑤ 低成分肥料や肥効調節型肥料の導入 など

肥料使用量の適正化による肥料コスト低減